

## 全国銀行の平成 23 年度決算の状況(単体ベース)

### <要 旨>

#### 1. 経常利益

経常収益は、国債等債券の関係収益が増加したことに加え、その他経常収益が増加したものの、資金運用収益が減少したことから、15兆4,372億円（前年度比682億円、0.4%減）となった。なお、その他経常収益の増加（同2,844億円、63.6%増）は、平成23年度から貸倒引当金戻入益・償却債権取立益の計上区分が変更されたこと等による。

経常費用は、与信関係費用が減少したほか、株式等償却が減少したことにより、その他経常費用が減少したことに加え、資金調達費用も減少したことから、11兆6,198億円（同6,244億円、5.1%減）となった。

この結果、**経常利益**は、3兆8,173億円（同5,562億円、17.1%増）と3年連続して増益となった。

#### 2. 当期純利益

**当期純利益**は、法人税等のほか法人税等調整額が増加したため、2兆4,812億円（同272億円、1.1%減）と減益となった。

#### 3. 業務純益

**業務純益**は、5兆332億円（同860億円、1.7%増）と3年連続して増益となった。

(注) 平成 23 年度決算における**全国銀行**とは、都市銀行 6 行（みずほ、三菱東京UFJ、三井住友、りそな、みずほコーポレート、埼玉りそな）、地方銀行 64 行、地方銀行Ⅱ（第二地方銀行協会加盟銀行）42 行、信託銀行 6 行（三菱UFJ信託、みずほ信託、中央三井信託、住友信託、野村信託、中央三井アセット信託）、新生、あおぞらの 120 行である。